研究内容説明書

作成日：2025 年　4 月　20 日

研究協力のお願い

昭和医科大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

進行がん患者における Barthel index の予後予測の有用性による検討
１．研究の対象および研究対象期間 2024 年 1 月から 2025 年 3 月に昭和医科大学横浜市北部病院緩和ケア病棟に入院し、1 ヶ月以上運動療法を行い亡くなった患者さん
２．研究目的・方法 進行がん患者のリハビリテーションを行う際には、残りの時間を配慮した運動療法を行います。残りの時間を判断する方法として、短期的な予後（週単位）を予測する指標として、医師、看護師が行う PPI（Palliative Prognostic Index）があります。PPI は、Palliative Performance Scale、経口摂取の低下、浮腫、安静時呼吸困難、せん妄の合計得点を算出します。症状や身体所見で算出できるが、患者の常にそばにいる医療者に役立ちます。 リハビリテーション療法士が日常評価する BI（berthal Index）は、食事、移乗、整容、トイレ動作、入浴、移動、階段昇降、着替え、排便コントロール、排尿コントロールの 7 項目から構成される。リハビリテーション療法士が作成した BI が予後予測に有効であれば、リハビリテーション療法士のみで予後予測ができ適正な運動療法が可能です。 昭和大学横浜市北部病院緩和ケア病棟に入院された患者さんの診療録から、リハビリテーション療法士が測定した BI と医師が算出した PPI の点数を測定し臨終の時期を予測できるか調査します。
３．研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 12 月 31 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 患者さんの診療録から年齢、性別、診断病名、現病歴（生存期間）および Palliative Performance Scale、経口摂取の低下、浮腫、安静時呼吸困難、せん妄、食事、移乗、整容、トイレ動作、入浴、移動、階段昇降、着替え、排便コントロール、排尿コントロールを調査します。

５．外部への試料・情報の提供

該当しません。

６．研究組織

研究責任者　　昭和医科大学横浜市北部病院　　西木戸修

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：　昭和医科大学横浜市北部病院　　緩和医療科　　氏名：西木戸修

住所：　横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1　　電話番号：045-949-7000（緩和ケアセンター）